

あったらいいなあ、妹の自てん車

すずきみのり

あたしが考える「ゆめの自てん車」は、妹
がかんたんにのるゴキウで、走る自てん車です。

あたしのひとつ下の妹は、しょうがいをも
っていません。ようが、学校の一年生です。あた
しとは、よくふた子にまちがわれます。

妹は、何でもあたしのまねをします。あた
しのやることはぜんぶ、自分もできると思っ
ているようです。あたしが学校のしゅくだい

をやっているところ、妹もお絵かきをしていきます。

あたしがりょうりの手つだいをしていると、

妹もペーパーでにじんをまきます。だから

あたしがお友達と自てん車で遊ぶつてが

つたらたいへん。妹も自てん車にのつてついで

てくるっときかないのです。

あたしのすんでいるところは、さかかた

たいらびはありません。あたしでさえスリ

ズにいかないので、まじりつき

小さな自てん車に、おつこのれるくらいの妹

には変わりです。交通ルールもあからないので、
つれていってあげたいけど、こわくてそれも
できません。妹はお母さんにとめられ、
「お母さんが見ているから、うちの前のリ
バサイル
と言われますが、なけ家にもどるので。
あたしは、妹を置いて出かけることに、お
ねがき、う」といたみます。妹がかあいそうに
なります。そんなとき、赤くてかあいゆめ
の自てん車があったらなめと鬼うのです。

まず、ほじよりんがなくてもバランスをと
つてくれる自てん車があればいいです。止
めるときも楽ちんです。三女なら、妹だけで
はなく、おとと自てん車のれないと言って
いたおはあちゃんものることかできます。
つぎに、きめくかできる自てん車のコンピ
ューターが入っているのでもよく行くばい
をきめくさせ、とうろくしておくのです。そ
うすると、そこまでの道いやんを自てん車が
うごいて教えてくれるのです。車についてい

るようなナビもあると、新しいほしめにも行
けてべんりだと思えます。

あと、さが道が繁な自てん車もほしくいびす。
けっきも言ったとおり、ここはたりがなとこ
るが少ないのです。上りざかがきよいので、
のぼりきることができないこともなります。
おして歩かなくてモ、サカを一気にのぼりた
いのです。

そんな自てん車があったら、今からでもあ
ぐ妹とサイクリングができるのになあと思ひ

ます。ゆめの自てん車にのって、妹はどこに
行きたいかな。おねえちゃんかどこにでも
つれていってあげるよ。って思っています。